

# 平成28年度女性活躍推進事業【山形県】

## 地域の実情と課題

本県は共働き率、育児をしながら働いている女性の割合が全国に比べ高く、出産・育児後も長く勤め続ける傾向にあるが、企業における管理職に占める女性の割合（課長相当職以上）は、「202030」目標としている30%には到達していない状況。

## 事業の特徴

やまがた女性活躍応援連携協議会構成機関・団体や当該機関・団体の会員企業等が実施しているワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍の推進に関する取り組みや事業を横断的に紹介することで、本県における女性活躍推進施策の「見える化」につながる。また、企業子宝率調査優良事例紹介リーフレットを作成し、県内の様々な業種、規模の身近なモデル事例を提示する。

## 事業の効果

ワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍の推進、子育て支援等に取り組むことの重要性を認識してもらい、意識付けを図るとともに、意識向上及び取り組み促進を図った。

## 目的・目標

県内企業におけるワーク・ライフ・バランス及び女性の活躍に関する取組みを進め、一層の機運醸成を図る。また、企業トップの意識変革を促す。

企業における管理職に占める女性割合（課長相当職以上）はH32年度まで21.0%を目標としているが、H28.8月末現在で12.5%であり、前年より1.3%減少。女性管理職増加のため、引き続き女性活躍関連の事業を強化・拡大していく必要がある。

仕事と家庭の両立に向けた支援措置を導入している事業所の割合は、H32年度まで70.0%を目標としている。H28年度は69.2%であり、前年より2.9%増加。

## 連携団体

やまがた女性活躍応援連携協議会 17機関・団体

## 今後の課題

企業における管理職に占める女性の割合は、前年より1.3%減少。また、本県は99%が従業員300人以下の企業であり、中小企業の女性活躍推進の取組みを進めることが必要であるが、女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画を作成した中小企業はH29.2月末で5社のみ。

女性の活躍推進を促すためにも女性活躍をテーマとしたフォーラムや先進的に取り組む企業によるパネルディスカッションの実施等により、企業のさらなる意識付けが必要。

## 事業の概要

### やまがた女性活躍応援連携協議会啓発チラシの作成

やまがた女性活躍応援連携協議会は、女性の力が最大限発揮できる山形県の実現を目指して、県内の経済・農業団体や行政など17機関・団体の連携により、平成28年6月1日に発足。

啓発チラシでは、協議会の構成機関・団体や当該機関・団体の会員企業等が実施しているワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍推進に関する取組みや事業を紹介。また、女性の活躍推進に関する相談窓口一覧も掲載した。

#### ○ 主な掲載内容

- ・在宅ワークにより自分らしいワークスタイルを実現している事業所の紹介
- ・JAグループの、女性のJA運営への参画促進に向けた運動の紹介
- ・介護や保育の仕事を希望する方の就労支援や介護・保育の現場で働く職員の相談窓口の紹介
- ・NPO法人による子育て家庭の支援事業を紹介



第1回  
やまがた女性活躍応援連携協議会

### 企業子宝率の優良事例紹介リーフレットの作成

企業子宝率調査の結果、企業子宝率が高く、ワーク・ライフ・バランスの推進や子育て支援、女性活躍推進等に積極的に取り組む企業6社をリーフレットに掲載し、主な取組みを紹介。

県内企業ややまがた女性活躍応援連携協議会構成機関・団体等に配布し、周知した。

#### ○ 掲載企業（企業子宝率/業種/従業員数※）

- ・ 朝日金属工業株式会社（1.54/製造業/54名）
- ・ 社会福祉法人恵泉会（1.50/福祉/320名）
- ・ 弘栄設備工業株式会社（1.56/建設業/95名）
- ・ 株式会社寒河江測量設計事務所（1.68/サービス業/45名）
- ・ 東舗工業株式会社（1.53/建設業/23名）
- ・ 山形市農業協同組合（1.51/複合サービス業/95名）

※ 従業員数は平成29年3月1日現在の数